



あつが
厚賀
しんはちろう
新八郎

概要

氏名 厚賀 新八郎
推薦団体 熊本市
主な活動地 熊本市

本賞

厚賀新八郎氏は、熊本県の伝統的工芸品に指定されている「おばけの金太」を半世紀以上にわたって制作されている職人です。

おばけの金太は、加藤清正に仕えた足軽がモデルと言われ、真っ赤な顔に黒い烏帽子姿、紐を引くと竹バネのからくりで舌を出し、目がひっくりかえっておどけた表情を見せる、子ども達にも大人気の郷土玩具です。

おばけの金太の作り方は一子相伝とされ、現在は、氏のみが制作されています。

また、その他にも、人形づくり教室の開催を通じて、からくりの仕組みや郷土玩具の楽しさを広く伝える活動をしてくられました。

さらに、二十年程前からは、熊本県や熊本市等の各種団体の役員を務め、後世に伝統文化を残す活動にも尽力してくられました。

このように、氏は、伝統的工芸品である「おばけの金太」の制作と継承を通じて、本県の文化振興に大きく貢献されています。

これまでの主な活動歴

昭和三十八年 父、新氏のもと人形師となる

昭和五十三年 熊本県ふるさと顕彰受賞

昭和五十四年 「おばけの金太」が熊本県伝統的工芸品に指定

平成二十二年 伝統的工芸品産業功労者褒章受賞

役職

- 一般社団法人 くまもと工芸協会相談役